

書評

岩石学概論(上)「記載岩石学」

岩石学のための情報収集マニュアル

周藤賢治・小山内康人著
共立出版 A5判272頁
定価3,700円(税抜き)
ISBN4-320-04639-0

本書は、火成岩・変成岩・堆積岩の分類や記載的事項について記述されたもので、続編の岩石学概論(下)「解析岩石学」(未刊)と併せて、岩石学を学習するための教科書・参考書として執筆されたものである。岩石学の教科書はたくさんあるが、本書の特徴は著者自らの研究成果が多数盛り込まれていることと、岩石の露頭写真や偏光顕微鏡写真が豊富にちりばめられていることである。これらの写真は付録のCD-ROMにも収められており、パソコンを介して鮮やかなカラー画像を見ることが出来る。また、本書には主要元素酸化物の分子量や海嶺玄武岩、始原マントル、コンドライトの代表的分析値など、よく使用される数値が掲載されているほか、近年の論文で取り上げられている話題やよく使われる図の解説が簡潔になされておりハンドブックとして大変便利である。

著者の1人、周藤賢治さんは共立出版より「地殻・岩石・鉱物」(牛来正夫・周藤賢治, 1982), 「地殻・マントル構成物質」(周藤賢治・牛来正夫, 1997)を刊行しているが、今回の「記載岩石学」では小山内康人さんの参加によって変成岩の記述が充実している。特に、第11章の広域変成岩の記載的特徴では、自ら研究した南極、インド、スリランカ、ベトナム、日高変成帯、肥後変成帯等から採取され

た変成岩類の美しい露頭写真や偏光顕微鏡写真が多数盛り込まれている。これらの豊富な偏光顕微鏡写真の中には多くの変成鉱物が収められており、サフィリンやビリディンといった普段お目にかかることのない鉱物も登場するが、本文中の解説と写真の説明文を読むことでどれがその鉱物であるかが理解でき、その特徴を把握することができる。

私はかつて地質調査のため、日高山脈を歩き回っていたことがあるが、ミグマタイトやグラニュライトの美しい偏光顕微鏡写真を眺めていると、このところ忘れがちな生き生きとした感動が甦ってくるような気分になる。ご一読をお勧めします。

本書の構成は以下のとおりである。

- 第1章 岩石の分類
- 第2章 火成岩の組成・分類・組織
- 第3章 火成岩の微量元素組成と同位体組成
- 第4章 火成岩の記載的特徴
- 第5章 火成岩体
- 第6章 変成作用
- 第7章 変成岩の分類と命名
- 第8章 変成作用の限界と進行過程
- 第9章 変成相と変成相系列
- 第10章 変成岩の組織
- 第11章 広域変成岩の記載的特徴
- 第12章 局所変成岩の記載的特徴
- 第13章 堆積岩の形成と分類

なお、続編の「解析岩石学」では、火成岩と変成岩についてのさまざまなデータの解析方法と、それらから導かれた岩石成因論の概要を解説したとのことである。期待したい。

(高橋 浩)